

スリーゼットからはじまる、
クリニックのためのクラウドサービス



Powered by NOBORI®

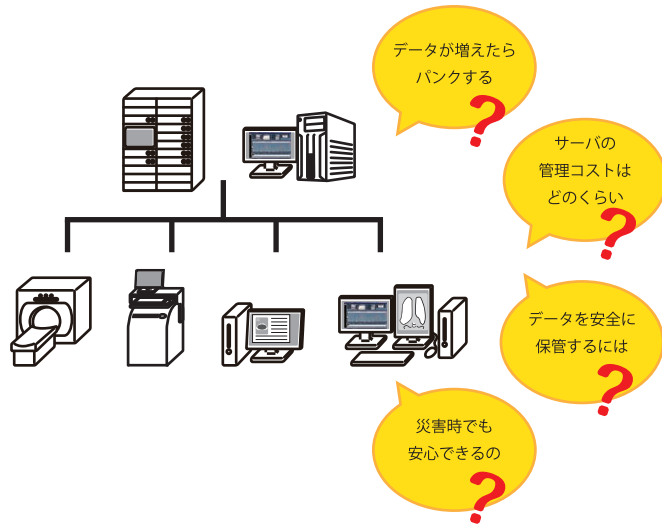
未来へわたる、医療の架け橋



株式会社スリーゼット
Meet! your needs

これまでのデータ管理

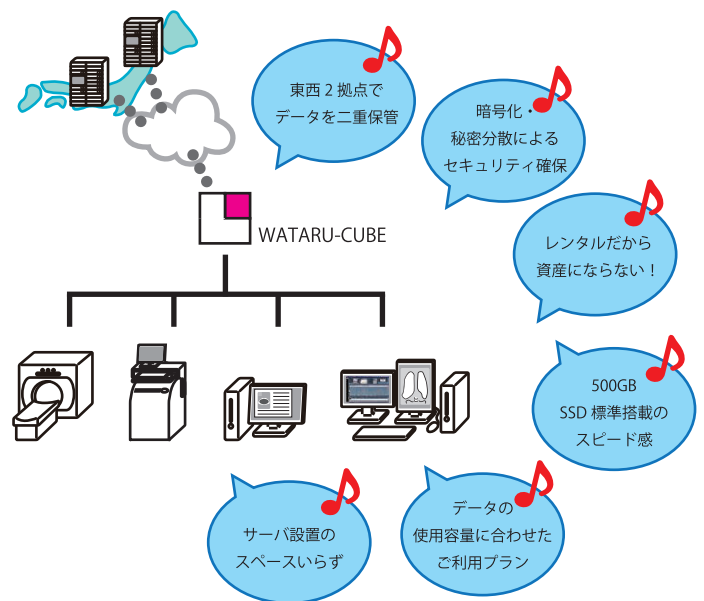
オンプレミス型



従来の画像管理に不安はありませんか？
WATARU が大切なデータを安全に保管します。

WATARU のデータ管理

クラウド型

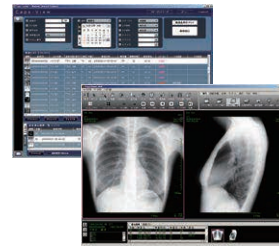


WATARU の特徴



WATARU-CUBE

コンパクトな CUBE は、SSD 採用により従来の HDD に比べ耐障害性を実現しました。さらにデータセンターからシステムを常時監視し、障害をリアルタイムで検知します。データセンターとの通信制御・管理・各検査装置との DICOM 受信や院内他システムとの連携などの役割を果たします。



使い勝手のよいビューワ画面

WATARU が採用したビューワは、多機能、スピーディなだけではありません。これまでスリーゼットが培ったノウハウを存分に活かした、使いやすい重視のビューワです。

WATARU を利用した画像管理のメリット

コンパクトな「WATARU-CUBE」を使用容量に応じて月額制のレンタルで提供します。医療機関の資産になりません。サーバ機器の購入・更新・管理にかかるコストが抑えられ、経済的です。

初期費用 が不要

場所をとらない「WATARU-CUBE」がサーバレス運用を叶えます。サーバの増設や買換え、容量不足といった不安が一掃できます。検査機器などの拡張にも柔軟に対応できるプランをご提案します。

サーバレス 運用

大切なデータは、国内の東西2拠点のデータセンターでそれぞれ二重保管します。暗号化・秘密分散による機密漏洩防止として機能します。また、昨今見直されている災害時のデータ確保としても効果的です。

セキュリティ

各種データはクラウド上のデータセンターにアップロードされるほか、500GB の SSD を搭載する「WATARU-CUBE」本体にも保存されるので、院内でのデータ参照はスピーディに行えます。

スピード

WATARU が目指す未来

施設間
連携

遠隔読影

モバイル
活用

患者様と
ご家族のための
サービス

and more...



大切な画像をクラウド管理 「WATARU」の安心感



施設概要

- 所在地
東京都西東京市住吉町 3-9-8 ひばりヶ丘メディカルプラザ 2F
- 診療内容
内科・胃腸内科・内視鏡内科・生活習慣病・健診・人間ドック

医療法人社団敬生会 なかじょう内科（中条 徹朗院長、本文中「当院」）は、
「正確な診断と丁寧でわかりやすい説明」をモットーに、地域の人々のホームドクターとして、
多くの内視鏡検査に携わった経験・技術に裏付けされた最新の医療を提供するため、
検査画像を活用した診療で患者とのコミュニケーションを図っています。
一般的な内科診療のほか、1日あたり約10件の消化器内視鏡検査を実施する当院で、
スリーゼット（本文中「当社」）のクラウド型 PACS「WATARU（わたる）」がどのように業務を支えているか、
また当社への期待などをインタビューしました。

開業当初からの課題だった 検査画像データの保存

当院では、朝一番の30分間と
午後の3時間を予約制の検査時間
とするほか、6時間の診療時間を
設けている。患者層は老若男女を
問わず、症状もかぜ等の急性期疾
患や高血圧・糖尿病等の慢性疾患
と多岐にわたる。

特に大腸内視鏡検査では検査・
所見作成・患者回復後の説明とい
った流れを複数患者で並行して実
施する。こうしたフル稼働体制に
あっても、院長とスタッフ間の役
割分担によるスムーズな連携が肝
となり、気配りの行き届いた受診
環境を創りだしている。

院長は親切で心のこもった医療
サービスと同時に、高度な技術に

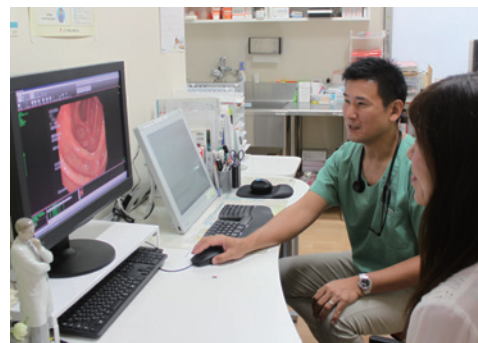
診療の提供を信条とし、患者との
コミュニケーションを重視してき
た。

「診察の際に、大きく綺麗な画
像を見ながら説明する（写真①）
ことで、**視覚的に理解・納得して
頂く**ことができるので、画像デー
タ整備には力を入れています」（
院長）。超音波等の検査画像
を2010年の開院時から
PACSで一括管理していたが、
**日々増加する検査画像の
保存は当初から課題になっ
ていた**。容量追加をするに
は、院内に設置したサーバ
本体だけでなく

- ▶ ①PACS を活用した診察風景
一緒に画像を見ながら説明することで、
患者の理解・納得をうながす。

バックアップ用ハードディスク増
設も必須であり、費用面だけでなく
ハードウェア管理の煩雑さも感
じていた。

そんな中、2011年の東日本
大震災の経験から、災害対策の必
要性を感じクラウド型 PACS を検
討するようになった。



▼②コンパクトな WATARU-CUBE

WATARU-CUBE はクラウド上のデータ保管・読込だけでなく、500GB の SSD を搭載し院内画像サーバの役割ももつ。設置スペースは一般的なタワー型サーバ機の約 4 分の 1 以下で十分だ。



費用対効果が高く 信頼のおけるクラウドサービス

災害時等のデータ保持やハードウェア管理コスト削減といったクラウドサービスのメリットを選定条件に、複数メーカーのクラウド

を進めていたが、当社に問い合わせたところ、自信をもって WATARU を提案していると感じた。

「WATARU-CUBE」の設置のみでクラウドサービスが利用できる（写真②）手軽さや、ビューワの操作性などが魅力であったが、一番の決め手は「データ保存のセキュリティに関する知識量や丁寧なサービス説明、また保守料込の月額制である点に信頼感を持ちました。ずっと使うなら、頼りになるメーカーにしたいと思っていました」（院長）

WATARU は汎用的な医用画像ビューワ（※1）を搭載している。「過去検査との画像比較や胸部レントゲンの心胸郭比計測・白黒反転表示など、簡単な操作で行えます。また、WATARU への入替に伴い、電子カルテとのシステム連携プログラムを導入しました。カルテ参照時に該当患者の過去検査画像がビュ

高速でトラブルも少ない WATARU

WATARU はインターネット回線を使用するため、従来の効率的な診療体制を支えられる画像参照スピードを確保できるかが懸念点として残っていたが、導入から半年間が経過した現在も、クラウドからのデータ参照はスピーディであり効率的に運用できているという。

また WATARU はトラブルが非常に少ない。院長に当社の満足度を尋ねたところ「満足度は 100 点に近いですが、実は不具合が起きないためサポート係に問い合わせる機会自体がほぼ無いのです。そこは未知数だから差し引き 90 点というところかな（笑）」といった回答を得た。

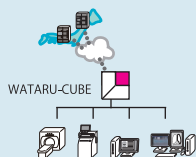
「スリーゼットの良さはアットホームな対応と高い技術力です。これからも安心してシステムを使



従来のサーバに代わる専用端末「WATARU-CUBE」をレンタルし、サーバレス運用を実現。データ量に応じた月額料金で利用できるハイブリッド・クラウド PACS です。

大切なデータは暗号化・秘密分散処理を行い、国内東西 2 拠点のデータセンターで安全に保管しますので、バックアップ体制としても安心です。

全国 1700 以上の導入実績をもつ弊社のビューワを標準装備するクリニック向けソリューションです。



当院の
コンセプト

患者の利便性や安心感を演出



西武池袋線ひばりヶ丘駅から徒歩 1 分の医療モール内に立地する当院。内視鏡検査では鎮静剤を投与するため自動車での来院ができない患者の利便性を考慮したという。広い院内は、便秘解消に良いといわれ長寿の象徴でもあるオリーブの緑と、太陽のオレンジがイメージカラーとなっている。前処置室やリカバリールームなどが目的別に整備され、リラックスして検査を受けられる工夫が施されている。

写真左：院長とスタッフの皆様。 右：広く明るい待合室。

■お問い合わせ先（制作元・製品開発元）



本社 東京都千代田区神田紺屋町 8 NCO 神田紺屋町 5F
Tel:03-5289-7531 E-mail:info@3zweb.co.jp

3zweb.co.jp

